



波のうみ

第 2 5 号
 発行 放 送 大 学 会
 神 奈 川 学 習 セ ン タ ー 同 窓 会
 編 集 者 総 務 委 員 会
 責任者 五 十 嵐 一 成
 発行日 平成 1 5 年 3 月 3 0 日
 会 員 数 8 3 5 名 (平成15年3月30日現在)

身近な社会貢献への

参画について

神奈川学習センター同窓会

会長 五十嵐 一成

先号の波涛、「会長就任にあたって より特色を活かした同窓会に」と題して述べましたとおり、私どもは発足以来の目的である、

- 一、会員相互の親睦
- 二、生涯学習の実践
- 三、社会への貢献

の三つの柱を掲げた活動をこれからも展開し、今後の課題として、身近な社会への貢献を模索していきたくを皆様にお伝え致しました。活動については、顧問・教職員・会員の方々・相談役のご意見とご協力を得ながら検討を繰返した結果、地域社会の貢献活動への参画という草案をとりまとめました。

一つの具体案として、教育委員会生涯学習課が平成十五年度秋頃から行う予定である、小・中学校での「土曜塾」への参画を目指していきたくと考えております。「土曜塾」とは、小・中学校において土曜日に使われなくなった教室・家庭、体育館などを利用して、希望する児童・生徒を対象に、人生を豊かにする技術や趣味を教える無料の塾というものです。他府県では、既に実施されている所もあり、その概要は、お花・手話・英会話・パソコン・囲碁・将棋等、様々な教室が開講されています。

今回、実施予定の「土曜塾」では（教育委員会生涯学習課のお話）授業は一、二時間程度。商社マンによる海外での体験談を交えた語学教室・調理師による料理教室・地域住民が受継いだ伝統芸能・サークルで活躍する主婦の合唱指導なども想定しているようです。また、講師は

来年度夏にも募集を始め、各種講座への協力を求め個人、人材バンク、NPO等に講師登録の依頼をして、実施していく予定であるとのことです。

この「土曜塾」の開講には「地域住民と子ども達との交流の場」としての効果の狙いも多くあり、安易な参画は地域交流の妨げになる可能性を含みます。同窓会では、教育委員会生涯学習課の方と今後、検討を重ねることで、放送大学同窓会の特色を活かした参画を考えていくこと、更に、この活動に参画するには、多くの諸問題を解決していかなくてはならないことから、実行委員会の設立を提案し、その参画に真摯にとりくんでいきたいと考えています。

放送大学同窓会には他大学に見られない特色を有しております。

- ①同窓生の多くが卒業後も生涯学習を実践している。
 - ②各分野で活躍されている人たちの集団である。
 - ③利害関係を排し、職業、信条などの違いに捉われないことのない集団である。
 - ④老若男女を問わない、ヨコのつながりと年代を超えたタテの人間関係の両面において親交がある。
- このような特色を有する同窓会は、身近な社会の負託に応えていく力を十分に備えている集団であり、同時に社会からもそのように期待される存在であるのではないのでしょうか。社会貢献活動への皆様のご理解と、ご協力をお願い申し上げます。

社会への貢献活動についての同窓会発足以来の施策は、

- 一、環境保全活動、省エネルギー活動支援
 - 二、地域社会・福祉社会への支援事業
 - 三、国際貢献
- となっております。国際貢献につきましては、一九九二年十二月

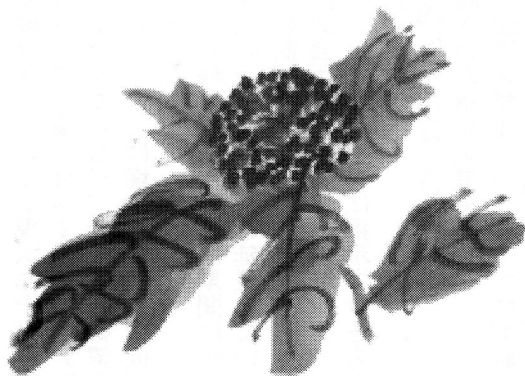
からフォスター・プラン活動（発展途上国の子どもとその家族・地域に対する経済的、精神的援助を目的とする。活動は主にF・P実行委員会による。）に参加しており、これは、神奈川学習センター同窓会の大きな特色のひとつであり、今後も活動をして参ります。（詳細は、六頁のF・P活動報告をご覧ください。）

活動方針と「テーマ」について

本会が、魅力ある同窓会であること、遠方からでも参加したいと思える総会や、企画を執行していくために、今後は「テーマ」に沿った企画と活動を試みたいと考えております。

新たな「社会への貢献」をご提案した年でもありますので、初回のテーマは「還元」としました。社会への貢献は、社会への「還元」とも考えられます。学んだことを伝えていくことも「還元」であると思います。

「還元」について皆様のお考えや、実行していることを、宜しければお伝え頂きたいと思っております。



第十四回通常総会及び講演会開催のお知らせ

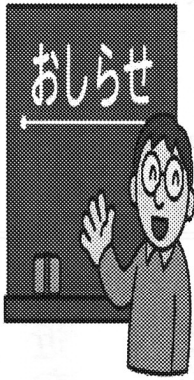
神奈川県学習センター同窓会第十四回通常総会及び講演会を開催しますのでお知らせ致します。
なお、総会、講演会、懇親会の詳細は総会通知書でお知らせ致します。

【総会】

日時 平成十五年五月十一日(日)
午後一時～
場所 神奈川県学習センター講義室

《議案》

- 一、平成十四年度活動報告
- 二、平成十四年度収支・決算報告
- 三、平成十四年度フオスター・プラン活動報告
- 四、平成十四年度フオスター・プラン収支・決算報告
- 五、平成十五年活動計画
- 六、平成十五年収支・予算
- 七、平成十五年フオスター・プラン活動計画
- 八、平成十五年フオスター・プラン収支・予算
- 九、社会貢献に伴う実行委員会の設立について
- 十、平成十五年役員選任



【講演会】

日時 総会終了後二時三〇分～四時
講師 東洋英和女学院大学人間科学科
矢吹 和美 教授

演題 思春期のつまづきをめぐって
—子ども達の話—
臨床心理学・心理療法
どう聞いたらよいか—

【懇親会】

講演会終了後懇親会を行います。
皆様の参加をお待ちしています。

「社会人のための大学フェア in かながわ」に参加して

五十嵐 一成

この催しは、平成十四年九月二十八日にかながわ県民センターで行われ、神奈川県下の短大・大学・大学院が、学校案内と体験発表を通して、社会人へ入学を呼び掛けたものです。

主催者は神奈川県教育庁の生涯学習情報センターで、後援として、新聞社・テレビ局・商工会議所等も協力したものでした。

会場には横浜国立大学・総合研究大学院・慶応大学・放送大学等、約五十校が参加し、各校のブースでは学校案内、個別相談等の情報提供をしていました。

私は放送大学の卒業生という立場で体験発表に参加しました。発表者は六名で、神奈川県立外語短期大学、フェリス学院などの社会人学生、卒業生、慶応大学へ〇A入試で入学した現役の学生で行われました。

私の発表会の内容は、

- 一、放送大学とはどのような大学か
- 二、授業の内容と卒業研究
- 三、放送大学から得たこと
- 四、卒業後の関わりと生涯学習について
- 五、放送大学大学院について
- 等、2回の発表をしました。

発表後の質疑応答では、放送大学について
社会人と学生の両立について
学費について
大学の環境について
等の多くの質問がありました。

放送大学への関心の高さに嬉しさを感じるとともに、多忙を理由にしての日々の不勉強さを反省する一日となりました。

【連合会便り】

放送大学と同窓会との懇談会開催

平成十四年十二月二日(金) 本学本部において丹保学長、麻生副学長、他、大学本部関係者十一名と同窓会(連合会役員)との懇談会が実施された。

放送大学の現況及び今後の展開

*全国化推進の結果、
学生数 一〇三、〇〇〇名
(大学院生を含む)

卒業生 二〇、三〇〇〇名になる。
最高齢の卒業生は九十四歳

*平成十五年十月より新たな学校法人としてスタートする。

*第一期大学院全科履修生の入学者は本学卒業生が三割、他大学が七割となった。

*面接授業については現状九十三単位以上取得者で卒業を目指す学生の優先順位が高くなっているが、今後履修希望の多い科目については増やしていく方向で検討中。

*大学院科目履修生の履修期間について、現状の一期(半年)を延長していく方向で検討中。

*同窓会ホームページへのリンクを、本学公式ホームページに掲載できる方向で検討中。

(既にトップページに掲示)

*同窓会の紹介記事を

「放送大学オンエア」に記載する方向で検討中。

*平成十四年度卒業式・卒業祝賀会

開催日 三月十六日(日)

卒業式 浦安市舞浜系ホール

祝賀会 東京ベイヒルトンホテル

(連合 会主催)



放送大学と同窓会との懇談会

同窓生による

【体験発表会】

平成十四年十一月十日、同窓生二人による体験発表が行われました。未知の南極に第一歩を記した片岡久雄さん、葬送支援アドバイザーとして活躍してらっしゃる坪井英子さんの貴重な体験談でした。参加できなかった方、ぜひの感想文をご覧ください。

拝聴片岡さん

【第一次南極観測隊

輸送業務について】

藤井輝



《体験発表 片岡 久雄さん》

片岡さんの話は四十数年前に遡る。当時二十六歳の片岡さんは、海上保安庁の公務員として、昭和三十一年から始まった南極観測隊の第一次遠征と第二次遠征に参加された方である。

現在も続く長い南極観測歴史の中で、この二回の遠征は、まさに未知の南極大陸の雪原に、初めて日本の観測基地（昭和基地）を建設する苦難の航海でもあったわけですね。

この時の観測船「宗谷」は、現在お台場の「船の科学館」の一面で観ることが出来ます。この「宗谷」を見学したのは平成十三年四月、神奈川同窓会の行事の内で、船内を案内してくださったのが片岡さんでした。この様子は「波濤」第二十二号に掲載されており、今回の体験談の格好な布石となっています。

第一次遠征当時の報道は、いろいろなメディアを通して華々しく日本中を沸かせたものでしたから、「宗谷」を見学した時、我が目を疑いました。本当にこんな小さな船で暴風圏を越え、南極大陸まで行ったの、と。その比較は隣に係留・展示されているかつての青函連絡船「羊蹄丸」よりずっと小さいのです。

前置きが長くなりましたが、つまり第一次遠征隊の南行の苦難が目に見えるようです。これを体験したのが片岡さんなのです。

体験談の前に当時の「南極新聞」の抜粋が配布されました。発行所は観測船宗谷南極新聞社です。しかし、片岡さんの話は、一般には公開されていない裏話で聴衆を楽しませてくれました。

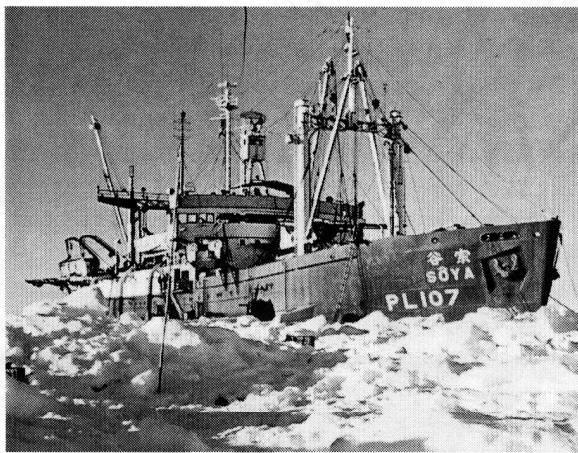
あの小さな船にどれだけお金がかかっていると思いますか？ 復員船を改造したもので、その改造費は今のお金に換算すると、イージス艦を二隻買えるほどの金額というから驚きです。

しかし、航行中にいろいろ技術問題が出てきて、設計ミスも指摘されたそうですが、これらの技術は後の観測船「ふじ」や「しらせ」に活かされたわけですね。

から、「宗谷」の苦労は初代観測船の運命なのかも知れません。

第一次遠征隊は総員百三十名で、観測隊五十三名、宗谷クルー七十七名、そしてこの時観測隊としての専門家（学者）は、わずかに十一名であったことから、一次隊の遠征はまさに物資輸送と基地建设だったのです。

この時片岡さんは、「宗谷」の機関士として参加されていたのですが、膨大な食料の管理も担当し、当時の冷蔵庫冷凍庫の温度管理の苦勞と、それを理解できない上司や関係者との葛藤？ は、表面には出てこない裏話なのです。



《氷上の宗谷》

灼熱の赤道祭、台風の中を航行しているような暴風圏の四日間、オビ号に救助されるまでの長い氷詰めの日々、そして「南極物語」の映画にもなった犬たちとの別れや再会、などなど片岡さんの体験談は一言では済まされません。紙面の都合もあり、片岡さんにはまだまだお聞きする機会を得たいと思っています。

【体験発表会を聴講して】

皆川 昭三



《体験発表 坪井 英子さん》

同窓会会員の堂々たる弁舌に、しらすしらすの中にアトラクティブなものを感じていた。二人の発表のうち坪井さんの葬儀にまつわる話に触れてみよう。

誰でも必ず他界する事になり、節目として血縁は勿論知己友人に看取られながら弔いを受ける。問題は、この葬儀に要する経費や形式が遺族に課せられることは当然としても、多寡を考えざるを得ない。業者が求めるまま従い、後で泣き面をかかすことも屢々聞かれる話である。この辺りが参会者の心を揺さぶり、知っておきたい中心点でもある。

壇飾りや供物料、法上様への心付け、焼香訪問者に対する接待、会場費等々、わからない事はばかりである。世間一般に知られていないし、経験した当事者さえ何が幾らで何が幾ら求められるのか明らかでなく、だからこうした情報が流れず広く知れわたることもない。やがて自分達の身の上に葬儀を執り行う局面に遭遇したら、どう対処したらよ

いのだろうかと思定していらつしやる方もおられると思う。なるべく負担を軽くしたい。余計な真似はしたくない。でも、きちんと礼を尽くしたい。懇ろに仏を祀りたい。これらの一切を納得するには、やはり業者に悉く相談するのが適切であるという一部の結論だった。

しかし一抹の不安はある。戒名はつける必要があるのか。本名では威厳を損なうものなのか。火葬に代わるものがないのか。中国では一旦死んだ人を火葬に付することは二度殺すことになるという。『何故二度殺さなければならぬのか』との新聞記事を見た。昔、日本でも野辺で親類が薪を持ち寄りダビに付したが、これにしても弔うことは容易ではない。

最近、葬送業者も乱立し、お互いに競争し、工夫を加えながら宣伝するようになってきている。二割引、三割引もチラシがシルパークを通じて見せられる。

とに角、この度の同窓会体験発表会を通じて学びとった意義は大きい。時間が許すならまだ質問も意見も際限なく続いたにちがいない。意外なところにみんなの関心があつた事を認識した次第である。



披露山・浪子不動

ハイキング

落ウオークへ参加して

稲葉 恒夫

どんよりと曇っているので、披露山方面散策の条件としては良くないが、集場所であるJR逗子駅の駅頭に男性六名、女性七名計十三名の人が集まった。

披露山は三浦半島の付け根、逗子市と鎌倉市との境に近く相模湾に突出した岬の高台にあり、公園からの展望は三浦半島随一と言われている。又この台地には一区画平均六〇〇平方メートル、電柱がなく隣家との境界に塀もない庭園住宅が拡がっている。

駅前をすぐ右折した「なぎさ通り」を行く。車道と歩道の区別がない一方通行の狭い道で、じきにバス通りと交差する十字路に出た。直進して県道「鎌倉葉山線」に入ると道幅も広くなり視界も開ける。この道は名越隧道を通り鎌倉へと通じているが、途中小平入口の標識で左折する。この辺りには旧東海道であったと伝えられている古道が今でも残っているし、板東武者が闊歩したのであるう名越の切通しは国の史跡に指定されている。

道はだらだらと登りになり披露山入口のバス停の先、左折する道路脇に披露山公園入口の看板が立っていた。

小綺麗なマンションなどのある葛折り坂道を二十分程登るとY字路に突き当たる。右は平坦になり披露山庭園住宅地から大崎公園へと通じている。左への急坂を登るとすぐ公園駐車場の広場に出た。

視界は一変して相模湾の展望が開ける。目的地だ。

公園の一隅に披露山の名前の由来について掲示があり、鎌倉時代幕府への献上物をこの地で披露したことに由来し披露山と名付けられたとしてある。公園の最先端まで行く。



天候さえ良ければここからの展望は抜群で逗子海岸から鰐摺港、長者が岬、三浦の台地、伊豆大島から天城連山、箱根の山波、そして江ノ島の上に富士山が浮かぶ雄大な風景が見られるのだが残念！江ノ島の先はかすんでいる。山あいの滑りやすい道を下って不動堂の上に出た。目の前に湘南の海が拡がっている。

この周辺が、徳富蘆花の小説「不如帰」の舞台になったので、この小さなお堂を物語のヒロイン浪子の名を取って浪子不動と呼ぶようになった。お堂の前、国道沿いの堤防の先に不如帰と刻まれた石碑が海中か

ら立ち上がっている。干潮時には石碑まで行けるとのことなので、国道の下を潜り堤防の外へ出たが、潮が満ちていて行くことができない。

この碑文は兄の徳富蘇峰の揮毫で、正面が徳富健次郎之碑、裏面に不如帰と刻まれているのだが、正面は海側からでないといけないので、お堂側から読める不如帰がこの石碑の名前として定着したものと思われる。



逗子の街に戻ってきた。二時間余りの行程であつたが幸い心配した雨にもあわず、皆と共に楽しく心地よい半日を過ごすことができた。最後は全員で食事を取り同窓会に乾杯して締め括り、散会した。

逗子八景

八景(はっけい)になぞらえて、昭和25年に逗子八景が選ばれました。披露山公園にその碑があります。

- 1) 桜山の晴嵐
- 2) 小平の帰帆
- 3) 浪子不動の秋月
- 4) 山の根の夜雨
- 5) 神武寺の晩鐘
- 6) 田越川の夕照
- 7) 沼間の落雁
- 8) 披露山の暮雪

映画のお話と鑑賞会

平成一五年二月二十三日(日)、同窓会員で、横浜映画研究会会員でもある、西浦久晏さんの、映画に関する溢れるばかりの知識と、熱い思いが伝わるお話の後、アメリカ映画を鑑賞いたしました。



《講演 西浦久晏さん》

映画グラディエーターを見て

原 健次

英語に弱い早とちりの私は、題名のグラディエーターを、卒業？に關係あるのかなと思いましたが、そこで早速開いた辞書にいわく、「市民の娯楽のために、剣などで武装して、競技場で他の剣闘士

(奴)、または野獣を相手にして、死ぬまで戦わされた剣奴、」ということでした。私が毎日テレビで見ているのは、ニュースのほかに「寅さん」や、「水戸黄門」です。今回の「剣闘士」は始めから終わりまで全編血染めの残酷シーンでありました。こわい映画でした。この映画はラブシーンが一回だけありました。私も(現在七十四歳)が子どもの頃はこわい画面や、ラブシーンが始まると両手で顔を隠したり、下を向いたりしました。それでも指の間からチラ、チラと見たものでした。

映画はローマの初めの頃の歴史がとてもよく再現されています。私も闘技場の場面では、思わず身を乗り出して声援を送りたくなってしまい、頭がカツカツと熱くなりました。不幸な元ローマの軍団長、今は奴隷の剣闘士マキシマス、相手は皇帝シーザーの息子・残忍なコモドウスとの戦い(内容は省略しますが)です。

さて、最近映画館で中国映画を2本見ました(中国語の勉強で)。なかなか人情味のある内容で、昔の日本映画、例えば大船調を見ている感じでした。

戦後、GHQ(連合国軍総司令部)の「3S」政策(スポーツ、スクリーン、セックス)で、日本が再び軍国主義に戻らぬよう、民主主義化が急がれました。洪水のようにアメリカ文化が入ってきて、軍国主義は骨抜きにされましたが、いざれにせよ現在の日本映画の危機は、ハリウッドの侵略が大きな要因であるとの意見もあります。

グラディエーターはとても面白く、参考になりました。時々このような映画を掘り出して、またぜひ見せていただきたい

と思います。皆さんも家庭でテレビやビデオ等によらず、たまには映画館に出かけ、映画を鑑賞されたいかがかと思えます。

映画鑑賞会

「グラディエーター」に参加して

(東京文京) 丸山 くみ子

「映画は、人生や世界を変える事は出来ない。しかし、よりよく生きようとする人に、力を与える事が出来る」

横浜映画研究会会員でいらつしやる、講師の西浦久晏さんの、とてもとても楽しいお話で会がはじまった。お話に出てくる、なつかしいあの映画、このスター達この映画は、あの「コンフィデンシャル」で注目され、「インサイダー」「ビューティフルマインド」と、常に姿をかえて新しい境地を開いている、ラッセル・クロウの主演なのだから見逃したままには出来ない。

「グラディエーター」とは、古代ローマの剣闘士のことで、主として戦争捕虜や奴隷からなり、闘技場で仲間同士や、猛獣と死ぬまで戦うことを強制された。見世物として民衆に提供され、政治家や権力者たちは、自己の地位や人気を高めるのに利用した。しかし、剣闘士たちは、屈辱的境遇を脱出し、人間的自由を回復するために蜂起や、逃亡をくりかえした。この試合が中止されたのは、ローマ帝国末期の四〇四年であったというから、前一〇五年に見世物としてはじまって以来、五百年続いていたのか・・・。

大きな男の手が、大地に広がる麦の穂に触れながら進む場面からこの映画ははじまる。度々繰り返されるこの映像は、

主題を象徴して美しい。主人公マキシマスが、妻と子供のいる故郷の農地に思いを馳せている。

愛、自由、人間としての尊厳などの描き方を以前のローマ時代映画、「ベンハー」「サムソンとデリラ」「十戒」などと比べてみた。やはり時代によって変化し、精神的な深みを増しているが、エンターテインメントとしての面白さ、胸ドキドキは今も続く。

ラッセル・クロウは「鳥肌が立つ脚本をえらんでいる。感情に訴え、それが肉体的現象に表れるような作品だ」と言っている。リドリースコット監督のこの映画で、二〇〇〇年のアカデミー賞主演男優賞を取った彼は、次はどんな人物を見せてくれるのでしょうか。

西浦さんのお話にあった、ユーモアや遊び心に満ちた映画の世界を、至福のひとつとして過ごして行きたい。それは、平和な時代であってできること。戦時中のあの軍国映画を見せられていた幼い目に、戦後入ってきた洋画のなんと楽しかったことか

今、またイラクでの緊迫した状況、北朝鮮の問題・・・本当の平和はいつなのでしょう。

お世話役の方々ありがとうございます。またお会い出来ますように。



フォスター・プラン活動

「ペアレントと

チャイルドの交流」

フォスター・ペアレントと、チャイルドとの交流って、実際はどんなかたちで行われるの？

今回はその様子を具体的に、バロバラちゃんとの交流において、写真も添えて紹介していただきます。

フォスター・プラン報告二〇〇三年春

バロバラちゃんとの交流

今回は、まもなく十八才に達し「援助の卒業」となるバングラディッシュのバロバラちゃんと、フォスター・ペアレントである私達同窓会との交流について報告してみたいと思います。

バロバラちゃんは一九九六年、五年生の時に私達のチャイルドとなりました。ペアレントへの心からの贈り物、という象の絵“は最初に送られてきた手紙です。バロバラちゃんや家族の人は手紙を書く事にはとてもシャイで、コミュニケーションをを通じての文通でした。日本



《バロバラちゃん》



の気候や学校の様子、子供達の遊びや動物園のこと等に興味を持っていて、私達は年に二回、手紙に写真を添えたり絵葉書、カード等を送っています。

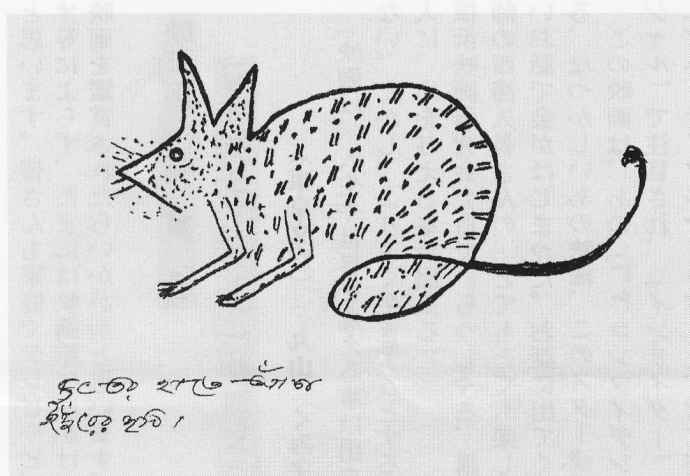
バングラディッシュには夏、雨季、秋、露の季節、冬、春と六つの季節があるとの事で、「露の季節」というのは何とも繊細な響きがあり日本の俳句の世界ですね。

私達の手紙は日本語から英語、英語からベンガル語にと翻訳ボランティアの助けを借りてやつとチャイルドに届くのです。私達は少しでも早く喜んでもらいたいと簡単な英語で書くようにしています。チャイルド



とペアレントは直接手紙をやり取りしてはいけない、五〇〇円以上の物を送らないように等、いくつかの規則があり、すべてフォスター・プラン協会を通して行います。六年余り成長を見守ってきましたが、バロバラちゃんは健康で友達と仲良く遊んだり小さい子供の面倒をみたり、家の手伝いも良くしているとの事です。看護師になる夢も実現するでしょう。

コミュニケーションの生活水準の向上も目覚ましく、教育、農業、保健医療、沢山のプロジェクトを実施し、環境保健プログラムでは新しい掘り抜き井戸の設置、家庭トイレの設置などを含む施設の援助でその結果このコミュニケーションでは水に関連した病気の発生が減少したのです。



ফকির শাহ - ১৭/১০
১৫/১০

《バロバラちゃんからの贈物》

チャイルドの成長と地域の様子は、現地のプラン・インターナショナルの職員から報告されてきます。バロバラちゃんとお別れするのは淋しいですが、私達の援助も成果をあげ成長したバロバラちゃんと共に無事卒業する事ができるのです。そして又新しいチャイルドとの交流が始まります。

チャイルドを通じて異文化を知り、世界に私達が支援している子供達がいると思うだけで心が温まる気がしますね。現在五人のチャイルド(家族、地域を含む)に一ヶ月五千円づつ援助しています。

これからも皆様の暖かいご協力をお願い致します。

フォスタープラン実行委員(星)



企画便り

開国の町横須賀を

ハイキングしましょう！

今年はいり来航百五十周年の節目と
ことで、横須賀ではいろいろのイ
イベントが催されるようです。

日本の夜明けの地、ペリー来航のゆか
りの地を訪ね、当時の歴史が現在の日本
にどう影響しているのかをペリー記念館
その他で感じてみませんか？
皆様のご参加をお待ちしています。

日時 平成十五年六月十五日(日)

コース 京急浦賀駅→西叶神社→灯
明堂→ペリー公園(ペリー上陸
記念碑・ペリー記念館)

集合場所

京浜急行浦賀駅

十三時集合・十三時十分出発

問い合わせ先

大花 0468(66) 2195

佐々木 045(472) 6482

☆ 約五キロ程歩きますので歩き易い靴と
飲物をご用意下さい。(小雨決行)



《企画の

今後の方針》

今年度より、企画を立てる際の方針を
少し変え、二年位かけて一連のテーマを
追うことにしようと思います。身近な地
域の歴史を訪ねて歩き、実際に見聞きし
たことを検討する機会を設けたいと考
えております。

具体的には、六月、十月に野外で史跡
を巡り、十一月に学習センター内で関係
資料をもとに勉強会を開く、という企画
です。

同窓生の中には、さまざまの分野で活
躍されている方がおられます。これらの
方々の豊富な知識と経験を、ぜひ生かし
ていただきたいと思えます。たとえば、
地域の歴史に詳しい方には勉強会の講師
になっていただき、ともに歴史を学んで、
そこから新しい視点を見付け出す手掛か
りとしてはいかがでしょうか。

手始めに、今年には三浦半島に拠点を置
くことにします。シリーズ化第一回の企
画は、上記のとおりです。

今後の企画に対するご意見、ご提案を
お寄せ下さるようお願いいたします。
又、神奈川県学習センター同窓会の特色あ
る企画作りに、ご協力をお願い申し上げ
ます。

これまで二回行われました、「映画
のお話と鑑賞会」につきましては、引き
続き企画したいと考えております。

☆ ご意見・ご提案は、上記お問合せ先
に同じく、大花、佐々木までお願い
いたします。

各同窓会の行事

当学習センター同窓会の行事以外に
も参加して、他の同窓生とも交流を深
めてみませんか。今年度前半の行事を
ご紹介します。

詳細は、総務佐藤

TEL 045(804) 0515

または、各学習センター同窓会へ
お問い合わせください。

【東京世田谷(東京第一)】

http://member.nifty.ne.jp/au-
dosokai/tokyo20setagaya.htm

【春の日帰り旅行】

鎌倉七口のひとつ、朝比奈コース、
を歩こう》

日程 平成十五年五月三十一日(土)

集合場所 JR鎌倉駅東口改札口前

集合時間 出発 午前十時

(雨天の場合は、このコースは中止
して美術館・博物館見学)

☆ コースの所要時間 一時間三十分

昼食・鎌倉散策他は自由行動

☆ 費用 各自負担

☆ 申し込み 五月十六日、片桐迄

(TEL 0426(25) 6076)

【東京文京(東京第二)】

http://home.att.ne.jp/surf/ky2-
doso/

【中近東文化センター見学 と若葉の三鷹周辺散策】

日時 平成十五年五月二十五日(日)
午前十時

集合場所 JR三鷹駅 改札口前
解散場所 京王線 調布駅

会費 二千円(見学科及び昼食代込)

申込み 四月二十五日迄 先着三十名

木村 TEL 03(3425) 8523

☆ 中近東文化センターの特別企画展を
専門家の説明付で見学します。

「放送大学同窓会連合会」

http://member.nifty.ne.jp/au-dosokai/

「神奈川」

同窓会・公式ホームページではありま
せんが、神奈川県学習センターのホームペ
ージはこちらです。

http://u-air.net/kanagawa/

「フェスタ・ヨコハマ」

毎年夏に行われる、神奈川県学習セン
ター学園祭・「フェスタ・ヨコハマ」
の今年度開催予定日は、

八月二十四日(日)

又は八月三十一日(日)のいずれ
かです。

開催予定日のお知らせ

大学インフォメーション・面接授業の
紹介・センターだより・掲示板などの
コンテンツが充実しています。

「フェスタ・ヨコハマ」

開催予定日のお知らせ

毎年夏に行われる、神奈川県学習セン
ター学園祭・「フェスタ・ヨコハマ」
の今年度開催予定日は、

八月二十四日(日)

又は八月三十一日(日)のいずれ
かです。

開催予定日のお知らせ

毎年夏に行われる、神奈川県学習セン
ター学園祭・「フェスタ・ヨコハマ」
の今年度開催予定日は、

八月二十四日(日)

又は八月三十一日(日)のいずれ
かです。

開催予定日のお知らせ

毎年夏に行われる、神奈川県学習セン
ター学園祭・「フェスタ・ヨコハマ」
の今年度開催予定日は、

八月二十四日(日)

又は八月三十一日(日)のいずれ
かです。

開催予定日のお知らせ

毎年夏に行われる、神奈川県学習セン
ター学園祭・「フェスタ・ヨコハマ」
の今年度開催予定日は、

八月二十四日(日)

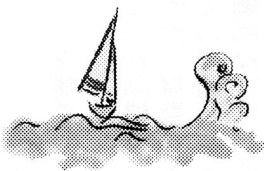
又は八月三十一日(日)のいずれ
かです。

開催予定日のお知らせ

毎年夏に行われる、神奈川県学習セン
ター学園祭・「フェスタ・ヨコハマ」
の今年度開催予定日は、

八月二十四日(日)

又は八月三十一日(日)のいずれ
かです。



リンと鳴ったお電話から、この「波濤」を、朗読ボランティアのお力を借りて読んでくださっている同窓生がいらつしやることを知りました。そこで、グループ「かけ橋」からのお便りと、他のボランティアも紹介させていただきます。

「あるご質問から」

前回の「波濤」・二十四号の発行直後に、電話でご質問をいただきました。それは、東京世田谷学習センターの行事予定の中で、「清澄(きよすみ)庭園」の読み仮名と(実は澄登庭園と誤記)、当神奈川学習センター長・神代和欣先生の正しい読み方を教えてほしいということでした。

前者については、誤記のお詫びをいたしました。同時に同窓生各位にも、この紙面で改めてお詫び申し上げます。

神代先生については、正確な読み方(こうしろ かずとし)先生とお伝えしました。その方が調べた選択肢として、こうしろ・かみしろ・くましろの三つをあげられましたが、確かに固有名詞の読み方は難しいですね。

実はこのご質問でたいへん感動させられたのは、この方が、放送大学卒業生で視覚がご不自由の方にボランティアで「波濤」を読んで差し上げており、より正確な読みで、という事でした。このようなご協力を得て「波濤」を読んでくださる方、それを大きく支えてくださる方がいらつしやる、ということを知って大きな感激！を味わいました。(総務)

「かけ橋」の活動を通して思うこと

杉本 志津子

「かけ橋」は、放送大学に在籍する身障学生の方々が、学習を進める上での困難な事柄について、お手伝いをしているグループです。メンバーは在校生と卒業生合わせて約三十名。活動を始めてこの四月で十年になります。その間にお手伝いをさせて頂いた、何人かの身障学生が卒業していきました。

「かけ橋」のすばらしさは、なんといっても身障者と健常者が「一緒に活動している」ところだと思っています。このグループに入った頃、「自分には障害があるけれど、お手伝いできることもあるので参加した」という身障学生に出会って感動したことが今も心に残っています。それまでいくつかのボランティア・グループに参加したことがあります。いつも「する人」と「される人」という関係でした。そこから「身障者は何もできない」という誤解が生じ、その人の出来ることまで手を出していました。

「かけ橋」に参加してそれが大きな間違いであることに気付かされ、ノーマライゼーションの大切さを改めて感じました。「ともに話し合い、ともに考え、ともに行動」をしなければ分らないことでした。「かけ橋」の集まりでは、みんながさりげなく、ごく普通に身障者に手を貸しています。「かけ橋」は身障者と健常者の「かけ橋」であると同時に、ノーマライゼーションの実践の場でもあると思います。

面接授業のサポートの時など、以前は先生方の戸惑いも見られましたが、最近

は暖かく接して頂いています。また協力してくださる学生にも出会い、心強く思いました。こうした輪が少しずつでも広がっていくことを願っています。



「電話相談」という

ボランティア

笠井 政記

貴方は、「いのちの電話」というのご存知ですか？私は、「横浜いのちの電話」に所属し、ボランティア活動を行っております。「いのちの電話」は、孤独の中にあつて、ときには精神的な危機に直面し、助けと励ましを求めている一人ひとりと、「電話」という手段で対話することを目的としたボランティア運動です。今、「いのちの電話」の果たす役割と働きが注目されております。現在、旭川から沖縄まで五十の電話センターが存在し、約八千名のボランティアが活躍しております。

気が付くと私たちの便利で快適な社会は、出口のない袋小路に迷い込んでしまったような気がします。海の向こうでは大変な事が起こりつつあり、日本も他人事と言つては行かない状況にあります。不況も一向に回復されず、また、管理のずさんさが指摘されたり食品に対する信頼が揺らいだりというように、人々の暮らしの不安材料には事欠きません。

私たちボランティアは、このような状況の中で、多くの人々と電話を通じて出会っております。そして個々の問題や人

間の違いを受け止めつつ、共に「いのち」を生かしあうことの大切さを痛感しているのです。

相談ボランティアになった動機は一人ひとり異なると思いますが、肩書きや地位、専門によらず、一人の人間として、かけ手との共感的、協働的な交流を通してそれぞれにふさわしい多様なあり方を模索したいと願っております。

役員になってください

同窓会活動に協力して下さる方を、役員一同切望しております。身近でご協力頂けそうな方のご推薦も、ぜひお願いします。パソコンのできる方大歓迎です。

会計・事務局より

神奈川学習センター同窓会では、年度会費千円を納入して頂いています。就きましては同封の振込用紙にて、未納分の会費を納入して頂きたいと思っております。なお平成十五年度会費の振込み用紙は九月発行の「波濤」に同封させていただきます。

編集後記

平成十四年度後半は、正に明暗の極みとも言ふべき大きなニュースに驚かされました。朗報では、二〇〇二年ノーベル賞の日本人初のダブル受賞でした。小柴政俊教授(物理学賞)、田中耕一さん(化学賞)は各界に喜びと希望を与えてくれました。一方、スペースシャトル「コロンビア」の事故は、どん底に突き落とされたような、悲しいニュースでした。加えてイラク問題も、とうとう厳しい情勢に突入してしまいました。

しかし、周囲を見渡せば、暖かい陽射しの中に木々の芽生えがあり、新しい躍動を感じさせてくれるのが救いです。